

国際文化専攻前期課程入試の専門科目に関する学習の指針を示す参考文献一覧(出題範囲を示すものではありません)

2024年2月

科目名	記号	参考図書名
英語学研究	A1	Baugh, A.C. and Cable, T. (2012) A History of the English Language, 6th edition. (Routledge) 中島平三編『[最新]英語構文事典』大修館書店、2001年 影山太郎編『日英対照 動詞の意味と構文』大修館書店、2001年
フランス語学研究	A2	朝倉季雄著『新フランス文法事典』白水社、2002年 大橋保夫他著『フランス語とはどういう言語か』駿河台出版社、1993年 髭郁彦、川島浩一郎、渡邊淳也著『フランス語学概論』駿河台出版社、2010年
スペイン語学研究	A3	菊田和佳子ほか『スペイン語学概論』くろしお出版、2015年 Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española, "Nueva gramática básica de la Lengua Española", Espasa, 2011.
ドイツ語学研究	A4	Dudenband 4. – Die Grammatik (2022). Hrsg. von Angelika Wöllstein und der Dudenredaktion. Berlin: Dudenverlag. ヘルビヒ, ゲルハルト / ヨアヒム・ブッシュ (2006): 現代ドイツ文法. 三修社. ヘンツェル, エルケ / ハラルト・ヴァイト (1994): ハンドブック 現代ドイツ文法の解説. 同学社.
中国語学研究	A5	北京大学中国語言文字系現代漢語教研室編、松岡榮志、古川裕監訳『現代中国語総説』三省堂、2004年 牛島徳次、香坂順一、藤堂明保編『中国文化叢書1 言語 新装版』大修館書店、2011年
言語学研究	A6	大津由紀雄編著『はじめて学ぶ言語学』ミネルヴァ書房、2009年 風間喜代三、上野善道、松村一登、町田健『言語学 第2版』東京大学出版会、2004年 角田太作『世界の言語と日本語 改訂版 言語類型論から見た日本語』くろしお出版、2009年 R.C.スカーセラ・R.L.オックスフォード著、牧野高吉訳・監修『第2言語習得の理論と実践—タペストリー・アプローチ』松柏社、1997年 本田弘之、岩田一成、義永美央子、渡部倫子『日本語教育学の歩き方』大阪大学出版会、2014年 吉岡英幸・本田弘之『日本語教育研究の視点—新しい教材研究論の確立をめざして』くろしお出版、2016年
コミュニティ通訳学研究	A7	水野真木子・内藤稔 (2015). 『コミュニティ通訳: 多文化共生社会のコミュニケーション』みすず書房. ヘイル, H. (著)・飯田奈美子 (編) 山口樹子・園崎寿子・岡田仁子 (訳) (2014). 『コミュニティ通訳: オーストラリアの視点による理論・技術・実践』文理閣. 飯田奈美子 (2018). 『対人援助における通訳者の倫理—公正なコミュニケーションに向けて』晃洋書房. ポエヒハッカー, F. (著)・鳥飼玖美子 (監). (2008). 『通訳学入門』みすず書房. マンデイ, J. (著)・鳥飼玖美子 (監). (2018). 『翻訳学入門 (新装版)』みすず書房. Hale, S. (2007). <i>Community Interpreting</i> . Palgrave Macmillan. Berk-Seligson, S. (2002). <i>The Bilingual Courtroom: Court Interpreters in the Judicial Process</i> . University of Chicago Press.

英米文学・文化研究	B1	ピーター・バリー著、高橋和久訳『文学理論講義』ミネルヴァ書房、2014年 テリー・イーグルトン『文学とは何か 現代批評理論への招待』上下巻 岩波文庫、2014年 レオン・T・ディキンソン『文学の学び方』南雲堂、1996年 R.Carter & J.McRae(1996) Penguin Guide to Literature in English(Penguin English)
フランス語圏文学・文化研究	B2	柏木隆雄編著『エクリチュールの冒険—新編・フランス文学史—』大阪大学出版会、2003年 横山安由美、朝比奈美知子編著『はじめて学ぶフランス文学史』ミネルヴァ書房、2002年 田村毅・塩川徹也編『フランス文学史』、東京大学出版会、1995年
スペイン語圏文学・文化研究	B3	ピーター・バリー著『文学理論講義』ミネルヴァ書房、2014年 佐竹謙一著『概説スペイン文学史』研究社、2009年 寺尾隆吉著『ラテンアメリカ文学入門』中公新書、2016年 Lázaro Carreter, F. y E. Correa Calderón (2006), <i>Cómo se comenta un texto literario</i> , 28a ed., Cátedra.
ドイツ語圏文学・文化研究	B4	柴田翔著『はじめて学ぶドイツ文学史』ミネルヴァ書房、2003年 手塚富雄、神品芳夫著『ドイツ文学案内』岩波文庫、1993年 ウンベルト・エーコ『論文作法—調査・研究・執筆の技術と手順—』而立書房、1991年
中国文学・文化研究	B5	藤井省三、大木康『新しい中国文学史—近世から現代まで』ミネルヴァ書房、1997年 坂元ひろ子『中国近代の思想文化史』岩波新書、2016年
欧米政治経済研究	C1	藤木剛康編『アメリカ政治経済論』ミネルヴァ書房、2012年 遠藤乾著『統合の終焉—EUの実像と論理—』岩波書店、2013年 網谷龍介ほか編『ヨーロッパのデモクラシー 改訂第2版』ナカニシヤ出版、2014年 君塚直隆ほか編『イギリスとアメリカ』勁草書房、2016年
中国政治経済研究	C2	国分良成編『現代東アジア：朝鮮半島・中国・台湾・モンゴル』慶應義塾大学出版会、2009年 丸川知雄『現代中国経済』有斐閣、2013年 毛里和子『日中漂流：グローバル・パワーはどこへ向かうか』岩波書店、2017年
国際関係論研究	C3	ジョセフ・S.ナイ ジュニア、デイヴィッド・A. ウェルチ著、田中明彦・村田晃嗣訳『国際紛争 — 理論と歴史』原書第10版 有斐閣、2017年 小山剛『「憲法上の権利」の作法(第3版)』尚学社、2016年 依光正哲編著『日本の移民政策を考える』明石書店、2005年
欧米歴史社会研究	D1	オットー・ブルンナー著、山本文彦訳『中世ヨーロッパ社会の内部構造』知泉書館、2013年 南塚信吾、秋田茂、高澤紀恵編『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える』ミネルヴァ書房、2016年 リン・ハント著、長谷川貴彦訳『グローバル時代の歴史学』岩波書店、2016年
アジア歴史社会研究	D2	和田春樹ほか編『岩波講座東アジア近現代通史第1巻東アジア世界の近代：19世紀』岩波書店、2010年 国分良成ほか著『日中関係史』有斐閣、2013年 後藤乾一編『岩波講座東南アジア史〈第8巻〉国民国家形成の時代』岩波書店、2002年 末廣昭編『岩波講座東南アジア史〈第9巻〉「開発」の時代と「模索」の時代』岩波書店、2002年

<p>中南米・新興国研究</p>	<p>D3</p>	<p>古谷嘉章『異種混淆の近代と人類学—ラテンアメリカのコンタクト・ゾーンから—』人文書院、2001年 エリアーデ『世界宗教史』1-8巻 ちくま文庫、2000年 国本伊代『概説ラテンアメリカ史』改訂新版、新評論、2001年 大貫良夫ほか監修『ラテンアメリカを知る事典』平凡社、2013年 川中豪、川村晃一編『教養の東南アジア現代史』ミネルヴァ書房、2020年</p>
<p>文化人類学・比較地域研究</p>	<p>D4</p>	<p>竹中克行編著『人文地理学のパースペクティブ』ミネルヴァ書房、2022年 米山俊直・谷泰編『文化人類学を学ぶ人のために』世界思想社、1991年</p>